

自由が丘に育つ 子どもたちの放課後

少子化や子どもを取り巻く状況について、話題に上ることの多い昨今。実際のところ、自由が丘に育つ子どもたちはどのようなのでしょうか。今回は、子どもたちの放課後取材しました。

緑が丘学童保育クラブ

緑が丘文化会館別館にある「緑が丘学童保育クラブ」は就労等の事情により、小学校から帰宅した児童(1年生~3年生)の保育ができない保護者に代わり、子どもたちが「ただいま」と言って入ってくる第2の家です。公立の児童だけでなく、私立の児童も利用できます。保育時間は、通常が



宮前小学校ランドセル広場

下校時から午後6時まで。夏休みなどは午前8時半から午後6時までです。

文化会館別館には、緑が丘児童館もあり、自由が丘の子どもの放課後を担う大切な場所です。

おやつ作り

取材させていただいた11月10日は、みんなでつくったおやつを頂くとのこと。一人ずつ手をき

室内には、子どもたちの

のぎやかな声と鉄板焼きのソースの良い匂いが立ち込めていました。

学童クラブ卒後も

指導員の方の一人は、小学校入学の時から学童保育でみてきた子が、卒後にもここに時々遊びに来るのが嬉しいと話していました。

同じ建物の中に児童館も入っているの、一緒に児童館のイベントに参加したり、好きな部屋に行き遊びたいところもあるそうです。

保護者にとって

利用している保護者の方に「学童保育があつて助かると思うことは？」とお聞きしたところ、「学校が夏休みなど長期のお休みの際にも、朝から子どもをみてくれること」

という答えがありました。子どもは食べ物だけでなく、大人との時間や愛情も栄養にして成長していきます。共働き世帯が増えている昨今、小さい子どもがいる家庭にとって保育所と同じように大切な場所だと感じました。

宮前小ランドセル広場

本年度から、目黒区の小学校全校において「ランドセル広場」がスタートしました。

「ランドセル広場」とは「放課後子どもプラン」(文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」を一体的あるいは連携して実施)により、放課後に子どもたちが安全で安心して、健やかに育まれるよう企画されたもの。児童たちは放課後一度家に帰らなくても、そのまま校庭で遊ぶことができます。

その中でも学校・地域・保護者が連携している宮前小学校のランドセル広場を訪ねました。地域や保護者の方が指導員として頑張っておられ、参加する児童の数も多く好評です。

取材を終えて

子育てについてはとてもするとマイナス面ばかりに反応しがちですが、保護者も含め子どもに関わる人の多くは、温かい気



緑が丘学童保育クラブ

持ちで頑張っています。

この町で育つ子どもや孫が、大きくなった時、この場所で育つて良かった。そう思えるような大人たちの関わりが、自由が丘にはあります。(広報委員会 福田江里子)

おまつり広場みやまえ

10月24日、宮前小学校庭と体育館でおまつり広場みやまえが開催されました。区、地域の学校・団体や個人の協力を得て小学生・幼児とその家族を含む、およそ2千人が体験コーナー、模擬店、バザー、展示、発表

会を楽しみました。自分たちで企画したコーナーを担当した小中学生もいます。目黒ばやし、バトントワリング、幼稚園児の合唱、小・中学生のクラブや地元のおとなの楽団の吹奏楽など、それぞれ見応え聴き応えがあり

ました。前日や当日の力仕事では、PTAの父親に協力いただきました。来場者やスタッフのみなさんの地域への親しみがさらに増していただけたと思います。おまつり広場実行委員会



わが街の小学生のヒーロー

23年の歴史を誇る「自由が丘サッカークラブ」に所属する緑ヶ丘小学校六年生の田口恵大(ケイタ)君が「U・12関東代表」に選抜され、今年、海外遠征も経験。ポジションはMF(ミッドフィールダー)で中学生になる来春からの活躍が大いに期待されています。



滴

はじめまして。この四月より緑ヶ丘小学校に着任いたしました校長の稲葉と申します。どうぞよろしくお願いたします。

緑ヶ丘小学校に足を一歩踏み入れたとたん、玄関前に「ウェルカム緑ヶ丘小」の文字が・・・。緑IIグリーン。そこで私は学校経営プランを「グリーンプラン」と名付け、本校の教育に邁進しようと決めました。「グリーンプラン」は四つの「G」で。

- ①グローバル→広い視野をもつ
- ②グレイト→大きいバランス感覚育成
- ③グロリアス→輝き夢の実現
- ④ジェントル→優しさ思いやりの心

右の四Gを柱に教職員が一丸となり「愛情一杯・笑顔一杯・心ふれ合」学校を目指してまいります。

今をときめく洗練された自由が丘の街と都会にあつて緑濃き緑が丘の恵まれた環境を大切に日々尽力してまいります。末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

緑ヶ丘小学校長
稲葉順子

住宅用太陽光発電 学習講演会開催



メーカーの説明では分りにくい、信用できないなどというご要望に添えて9月25日に開催しました。太陽光発電ユーザーの全国最大組織であるNPO法人・太陽光発電所ネットワークの都筑事務局長に説明して頂きました。

住宅では3〜4キロワット分の太陽光発電を設置することが多いようです。設置する方位や角度によって多少発電量が異なります。太陽光発電をめぐっては、良心的な業者がいる反面、訪問販売のトラブル、設置業者を巡るトラブルなどが発生しています。設置後故障することもあります。発電効率の悪いパネルも一部出回っています。戸建住宅では工事に伴い雨漏りが生じた例もありま

す。工事費が2〜3百万円も掛るにも関わらず、騙されてその場で印を押して後悔してしまう人もいるそうです。気をつけましょう。

将来、ベランダに設置した一枚の発電パネルからの電気を何日分か貯め電気自動車やバイクに充電するという時代が来るかもしれません。一般的な住宅一帯では、年間5500キログラムのCO2を排出していると言われています。省エネを巡り、自然エネルギーを活用することによりCO2排出量を減らすことができます。今後一緒に考えてみませんか。

環境整備委員会

自由が丘女神まつり

さるndeじゅうく

10月10〜11日の自由が丘女神まつりでは、住区住民会議が協賛し「サロndeじゅうく」を開催しました。住区センターの16団体の展示におおぜいの人が訪れ、大変な賑わいを見せました。



た、バルーンアートには子ども達が歓声を上げて喜んでいました。授乳やおむつ交換のできるベビールームも昨年同様ママには好評でした。

自由が丘絵画コンクール
幼児と小中学生が「大好きな自由が丘」をテーマに描いた作品のコンクールが、青少年住区委員会、商店街振興組合の共催で実施されました。応募作品76点は、みずほ銀行、野村證券、日興コーディアル証券に展示され、自由が丘駅前特設会場にて、自由が丘大賞(写真下)、女神賞、あおぞら賞あわせて8作品が表彰されました。



防災訓練を実施

今年の防災訓練は例年の内容を見直し、より実践的な訓練を11月14日緑ヶ丘小学校で行いました。参加者全員で化学米作製の手順を確認、校内備蓄倉庫を開扉して内容を確認。ライフラインで最も被害が大きく復旧に日数を要すると想定されている水に関する訓練で応急給水・簡易トイレ組立を体験しました。



また、地域の特性で災害時に懸念される帰宅困難者の避難誘導が自由が丘商店街の皆さまにより防災訓練に合わせて行われました。さらに体育館に移動し、地域にお住まいの普通救命講習受講者が指導役となり、応急救命AED取扱い訓練でレスポ(人工呼吸用マウスピース)を使って行いました。防災住区委員会



歩こう会

両国・隅田川水辺から東京スカイツリー
11月7日、参加者21名、8時25分に自由が丘駅に集合し両国駅に向かっ出て出立しました。両国駅から国技館を右手に隅田川沿い(隅田川ステーション)を、11月にしては暖かい朝の空気を吸いながら蔵前橋、厩橋、駒形橋、吾妻橋までの約40分を歩きました。アサヒビール本部の炎のオブジェ前からのスカイツリーを眺め、墨田生まれの勝



海舟像を後に墨田公園を散策し牛島神社、三囲(みめぐり)神社をお参りしました。余談ですが三囲神社の交差点は634mのスカイツリーを横に寝かせたらこのマンホールの中を塔の先端が来るとのこと。業平橋まで歩きまだまだ高くなるスカイツリーに感動しながら解散しました。

地域活動委員会

リサイクルセール

恒例のリサイクルセー
ルは9月12日、緑ヶ丘文化会館で開催されました。今年は酷暑の厳しい日でしたが、多くの住民の方々の献品と、委員が持ち寄った品々を並べ、19の出店者と共に行いました。110名余と少な目の来会者でしたが皆様あれこれ物色し楽しんでいました。売り上げも程々で、次回の売り上げと合わせ13台目の椅子を目標に社会福祉協議会に寄贈できる見通しです。次回は来年2月6日です。

地域活動委員会

区政功労者表彰
10月1日「目黒区区政功労者」として左記の方々が表彰されました。これは、区政の振興発展および区民福祉と文化向上に貢献したかたに贈られます。(敬称略)

社会教育・社会体育功労
山田敦子
社会福祉功労
合田榮一

編集後記

住区住民会議の広報に携わり、常に勉強させられます。少子高齢化社会に生活していて自分の現在の立場、位置関係も変わってきます。こんな時住民の地域とのつながりは大きく、連帯意識を持つていかなくてはなりません。呼びかける行事にはできるだけ参加しましょう。今号の編集では「地域ではぐくむ子どもたち」をテーマに話し合いました。広報の紙面は委員全員参加で取り組んでいます。ご意見をお寄せ下さい。

山本洋子

自由が丘住区住民会議
新年会のお知らせ
日時 1月25日(火)
午後6時より
会場 緑ヶ丘文化会館

住区ニュースの 配布変更について

自由が丘住区住民会議の「住区ニュース第120号」が発行されました。これまで、自由が丘地区の配布に関しては「戸別配布」となっておりましたが、各町会のご協力により、今後、町内の回覧板を利用して配布させて頂くことになりました。住区センターにはこれまで通り常備してあります。(緑ヶ丘地区・宮前地区に関しては、従来どおりの方法で配布します)

委員会活動予定 (12~3月)

月	活動	委員会
12	もちつき(緑ヶ丘小18日)	青少年
1	書初め大会(緑ヶ丘小7日)	青少年
	もちつき(宮前小11日)	青少年
	住民会議新年会(25日)	総務
2	高齢者懇談会(28日)	地域
	西部地区スポーツ大会(6日)	総務
	リサイクルセール(6日)	地域
3	料理教室(9日)	地域
	桜まつり(開催日未定)	総務

休館のお知らせ

自由が丘住区センターと宮前分室は12月28日〜1月4日まで休館します。

発行 自由が丘住区住民会議
目黒区自由が丘1-24-12
編集 広報委員会
電話 (3718) 1195
メールアドレス
jyugaoka19@bz03.plala.or.jp